

株主の皆様へ

## 第60期 株主通信

2016年4月1日から2017年3月31日まで

**Nagoya**  
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.



(左から3Dはんだ印刷検査装置NVI-S300、3D基板外観検査装置NVI-G300)

名古屋電機工業株式会社

証券コード◎6797

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援並びにご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第60期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）のご報告をさせていただくにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

2017年6月

### —社長就任に伴うメッセージ—

情報板メーカーから

道路交通安全を守る総合設備メーカーへ

検査装置メーカーから

工程・品質改善設備メーカーへ

国内外の市場に挑戦し、

ニーズを先取りした新製品で、

社会に貢献できる企業をめざしていきます。



代表取締役社長 **服部 高明**

2017年2月21日 取締役会におきまして、私、服部高明が新たに代表取締役社長に就任いたしました。

生年月日 1976年11月27日

出身地 愛知県

最終学歴 2000年3月  
南山大学文学部英文学科卒

#### 略 歴

2000年4月	当社入社
2009年6月	当社取締役執行役員オプトエレクトロニクス事業部事業推進室長
2014年6月	当社代表取締役専務FA検査装置カンパニー担当、ITS情報装置カンパニー長 兼 事業推進室長
2015年6月	当社代表取締役常務ITS情報装置カンパニー工事ソリューション本部長 兼 企画部長
2017年2月	当社代表取締役社長

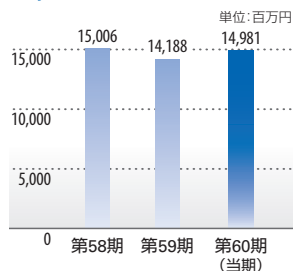
## Financial Highlights 決算ハイライト

### 営業概況のポイント

- 官需を主とする情報装置事業は同業他社との価格競争が依然として続くなか、きめ細かな営業活動を継続中
- 民需を主とする検査装置事業は販路拡大のため他社製品との差別化を図り、より優れた製品で顧客ニーズに対応すべく新製品の開発、販売を開始

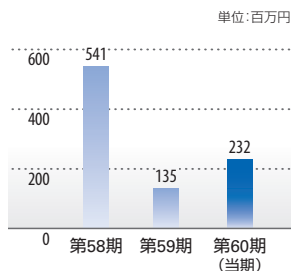
#### 売上高

14,981百万円 前期比5.6%増



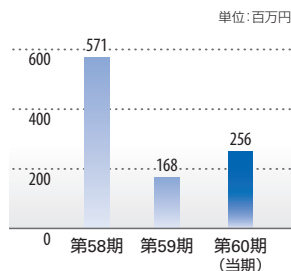
#### 営業利益

232百万円 前期比1.7倍増



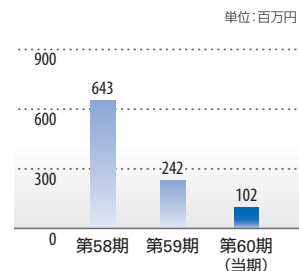
#### 経常利益

256百万円 前期比1.5倍増



#### 当期純利益

102百万円 前期比57.7%減



### 今後の課題

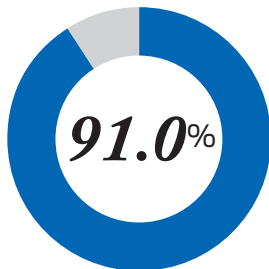
政府は東日本大震災からの復興・創生に向けての取り組みを進めるとともに、デフレからの脱却に向け、経済再生と財政健全化を同時に実現するための政策に取り組んでおります。また、東京オリンピック、パラリンピックの開催に向けた公共投資の増加や、老朽化した橋梁、トンネル等の社会インフラの再構築など当社の情報装置事業において一部には明るい材料もあります。一方、少子高齢化によりドライバー人口の減少が見込まれており、道路情報板予算は緩やかに減少することが予想されます。このため、当社の強みである道路情報装置関連市場に自動運転・AI 関連の路車間通信などの新技術を積極的に取り入れて成長へとつなげてまいります。また、インドをはじめとする海外市場や道路情報装置以外の新規市場も開拓していくことが、当社の課題と認識しております。検査装置事業の事業環境は、民間の設備投資においては持ち直しつつあり、きめ細かく顧客ニーズを汲み取った製品やサービスを求められております。

そのために、全社一丸となって幅広い顧客に向け対応力を強化するとともに、外部環境の変化にマッチした高付加価値商品を開発し、商品力を強化してまいります。また、さらなるコスト競争力強化、品質向上のための取り組みを続けてまいります。今後も製造、販売、サービス網のグローバル化をはじめとし、成長戦略に向け積極的に投資してまいります。

## セグメント情報

## 情報装置事業

高速道路会社向け大型案件の工期延期により、LED式道路情報板の生産が計画どおり進捗しなかったものの、国土交通省、都市高速道路公社向け案件が堅調だったことから売上、利益とも前年同期を上回りました。



2017年3月期

売上高 **13,628** 百万円  
前期比 8.1%増

セグメント利益 **1,399** 百万円



トンネル防災システム



道路情報提供システム



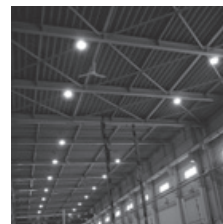
図形情報板



津波警報表示板



ソーラー式積載型車載標識装置



LED高天井用ランプ

## 事業内容

## ITS情報装置

「道路情報」に関する製品・システムを中心に、長期間使用も含めた「信頼のトータルシステム」を提供

## 車載製品

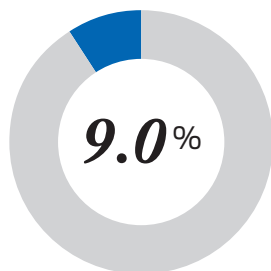
安全安心のため、道路現場で適切な情報を伝える「車載標識装置」や、車両に搭載する「散光式警光灯」を提供

## LED照明

省エネ・長寿命はもちろん、様々な環境への対応を実現した「LED照明装置」を提供

## 検査装置事業

新たに開発した3次元基板外観検査装置や3次元はんだ印刷検査装置の販売を開始したものの、市場投入が遅れたことから、売上、利益とも前年同期を下回りました。



2017年3月期

売上高 1,353 百万円

前期比 14.6%減

セグメント利益 △642 百万円



3Dはんだ  
印刷検査装置



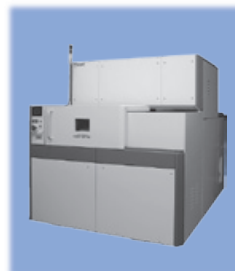
はんだ付  
外観検査装置(ハイエンド)



3D基板外観検査装置



透過型X線検査装置



3DX線検査装置



ICテスト用ハンドラ

### 事業内容

#### FA検査装置

安定、高精度を兼ね備え、X線・画像処理などの先端技術を取り入れた工場用「検査装置」を提供

## 女性社員研修会を実施しました

平成28年4月1日から「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（通称：女性活躍推進法）」が施行されました。これを受け、女性従業員にとって働きやすい環境を目指し、女性の意見を聞くために研修会を行いました。研修は、参加者をグループに分け、こちらから提供したテーマについてのディスカッション、プレゼンテーションという形式で行いました。

こうしたグループワークの経験がない者も多く、はじめは戸惑いも見られましたが、どのグループも最後には意見をまとめ、経営陣へ女性従業員の声を届けることができました。

本研修後のアンケートの結果、「他部署の女性社員と話せてよかった」との意見が寄せられました。製造業を営む当社に在籍する女性社員数は、全社員の内わずか7.6%（平成29年3月31日時点）と女性活躍とは程遠い現状ですが、その分伸びしろは大きいと感じております。今後はより充実した内容の研修を企画し、女性がより元気に働ける環境を整えていきたいと思っております。



## 福岡支店を移転しました

福岡支店が東区箱崎から博多区博多駅南へ移転しました。新福岡支店は5月15日（月）から営業開始しました。旧支店と比べ面積は約3倍となりましたので、1階はFA検査装置事業のショールームおよびITS情報装置事業の倉庫、2階はITS情報装置事業の営業部員・工事ソリューション員の事務所として活用していきます。

博多駅から徒歩圏内の立地ですので、福岡支店の社員にとっても通勤しやすい環境となりました。また駐車場も広くなったことから、車でご来店されるお客様にも不便なくご利用いただけます。

さらに九州地方整備局、NEXCO九州支社等のITS情報装置事業のお客様だけでなく、FA検査装置事業のお客様からも近く、より営業活動がしやすくなると期待しております。今後とも両事業の九州地区での要として、さらなる利益獲得に向け、まい進してまいります。



## 情報装置事業／第8回 製造共栄会社会議（鯨の会）を開催しました

日時：4月21日（金）15:00～  
参加人数：70社 116名（当社 16名）

当社の今後の戦略を共栄会社様（仕入れ先）と共有し、コストダウンを図りながら共存共栄することを目指して、本年も製造共栄会社会議を開催しました。

当社社長の開会あいさつ、2017年度全社方針の説明後、昨年度の経営に多大なる尽力を頂いた、有限会社テクニカル三友様に感謝状と記念品を贈呈いたしました。

続いてITS情報装置事業本部の営業本部長およびFA検査装置カンパニーの副カンパニー長がそれぞれ今期の市況について説明し、代表幹事会社3社様より今期のさらなる協力と当社に対する強い期待が表明されました。

後半では、生産本部長より共栄会社様へ、主にコストダウンへの協力をお願いし、さらに品質改善室長より品質ロスコストに対する取り組みについて説明しました。最後にITS情報装置事業本部長が中期事業計画達成に向けてOCD主体の取引見直しを宣言し、閉会しました。



## 検査装置事業／ネプコンジャパン2017に出展しました

2017年1月に東京ビッグサイトで開催されたNEPCON JAPAN 2017に出展いたしました。業務提携しております第一実業様のブースにも当社検査装置を出展いただいたこともあり、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。

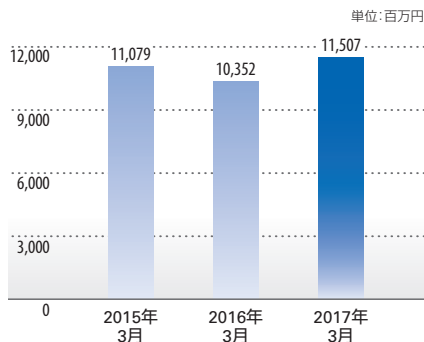
今回の出展テーマは「検査装置からソリューションへ、良品100%モノ作りに貢献」。検査装置をセンサーとして機能させ、実装ラインの予知保全や不良原因の速やかな特定・排除を助ける品質管理ソリューションを訴求しました。さらに、開発途上の3DX線検査装置「NVI-3400IM」を参考出展して競合への対抗をアピールしました。

この結果、会期中の商談で新商品NVI-G300をご発注いただくことができました。また商談のタネになる投資計画を約70件収集することができ、「中身の濃い」出展となりました。

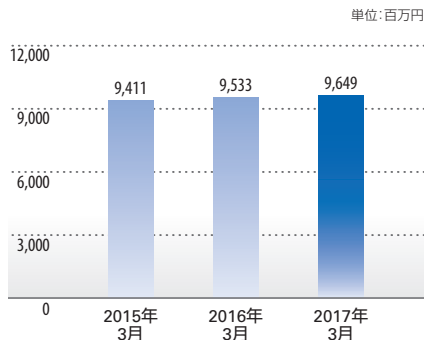
競合がひしめく中、厳しい戦いが続いておりますが、今回の出展で得られた成果を刈り取り、一層の販売拡大に取り組んでまいります。



## 財務諸表

流動資産 **115億7**百万円

流動資産は前事業年度末と比較して11億55百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が4億5百万円、受取手形が1億93百万円減少したものの、売掛金が12億69百万円、仕掛品が4億91百万円増加したことによるものです。

純資産 **96億49**百万円

純資産は前事業年度末と比較して1億16百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券差額金が77百万円、利益剰余金が38百万円増加したことによるものです。

## 貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前事業年度 (2016年3月末)	当事業年度 (2017年3月末)
○資産の部		
流動資産	10,352	11,507
固定資産	3,879	4,158
有形固定資産	2,830	3,037
無形固定資産	93	80
投資その他の資産	955	1,041
<b>資産合計</b>	<b>14,231</b>	<b>15,666</b>
○負債の部		
流動負債	4,634	5,936
固定負債	64	79
<b>負債合計</b>	<b>4,698</b>	<b>6,016</b>
○純資産の部		
株主資本	9,423	9,462
資本金	1,184	1,184
資本剰余金	1,105	1,105
利益剰余金	7,158	7,197
自己株式	△25	△25
その他有価証券評価差額金	109	187
<b>純資産合計</b>	<b>9,533</b>	<b>9,649</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>14,231</b>	<b>15,666</b>

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。



## 損益計算書 (単位: 百万円)

科目	前事業年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	当事業年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
売上高	14,188	14,981
売上原価	12,233	12,873
売上総利益	1,954	2,108
販売費及び一般管理費	1,818	1,876
営業利益	135	232
営業外収益	56	70
営業外費用	22	46
経常利益	168	256
特別利益	138	18
特別損失	82	32
税引前当期純利益	224	242
法人税、住民税及び事業税	37	60
法人税等調整額	△55	79
当期純利益	242	102

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

## キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

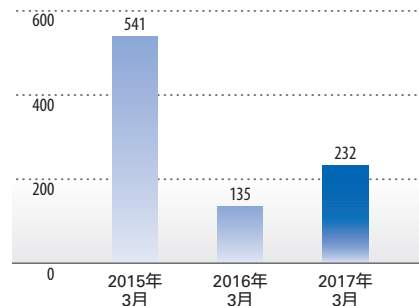
科目	前事業年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	当事業年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,184	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△583	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	34	△65
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,635	△405
現金及び現金同等物の期首残高	2,254	3,889
現金及び現金同等物の期末残高	3,889	3,483

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

## 営業利益

# 2億32百万円

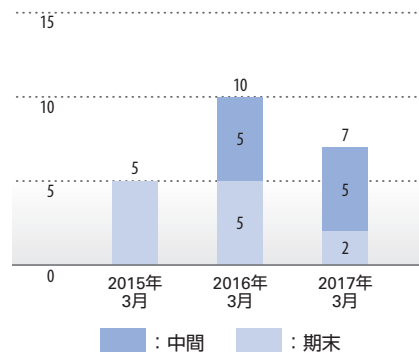
単位: 百万円



営業利益は2億32百万円（前期比71.4%増）となりました。これは、主として売上の拡大により売上総利益が増加したことによるものです。

## 配当金

単位: 円



※2016年3月中間配当金には記念配当金3円含む。

業績・財務、IRに関する詳細情報は

# 会社概要 (2017年6月27日現在)

## 会社概要

商号 名古屋電機工業株式会社  
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

設立 1958年5月

資本金 1,184,975千円

事業内容 官公庁向け各種情報装置システム及び自動車・電子機器市場向け各種検査装置の製造販売

事業所 ○本社 愛知県あま市（登記上の本店は名古屋市市中川区）  
○営業拠点（国内）札幌、仙台、東京、埼玉、新潟、名古屋、大阪、高松、広島、福岡、鹿児島  
（海外）中国（無錫、深圳、天津ショールーム）  
インド（ハイデラバード）  
○生産拠点 美和工場（愛知県あま市）、七宝工場（愛知県あま市）  
多度工場（三重県桑名市）、東日本事業所（埼玉県入間郡）  
○合併会社 インド（バンガロール）

従業員数 431名（2017年3月31日現在）

## 役員

代表取締役社長 服部 高明

取締役 儀野 弘一

取締役 江州 秀人

取締役 本多 正俊

取締役 森本 安和

取締役 中村 昭秀

取締役 赤澤 義文

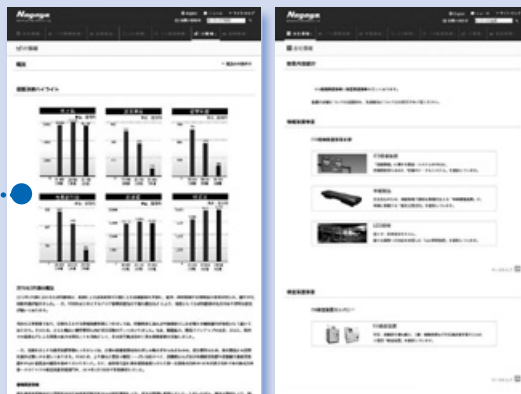
常勤監査役 松井 悟

監査役 榎 泰邦

監査役 市原 裕也

## ホームページのご案内

当社はホームページ内に投資家の方々を対象とした投資家向け情報のページを設けています。株主通信のバックナンバーや決算短信、配当金情報といった各種資料等がご覧いただけます。



ホームページアドレス  
<https://www.nagoya-denki.co.jp/>

## 株式の状況 (2017年3月31日現在)

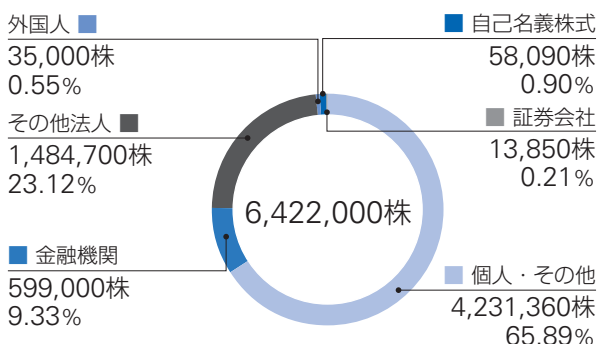
## 株式の状況

発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式総数	6,422,000株 (自己株式58,090株を含む)
株主数	613名
単元株式数	100株

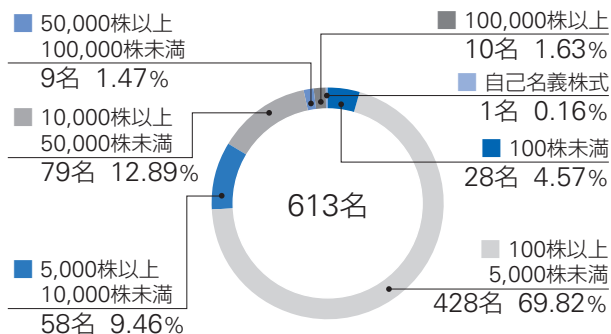
## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
名古屋電機工業社員持株会	640,700	9.97
服部 正裕	564,400	8.78
有限会社名電興産	540,000	8.40
服部 哲二	440,000	6.85
牧野 弘和	308,400	4.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	236,000	3.67
福谷 桂子	228,000	3.55
日本信号株式会社	220,000	3.42
第一実業株式会社	170,000	2.64
福谷 曜	109,000	1.69

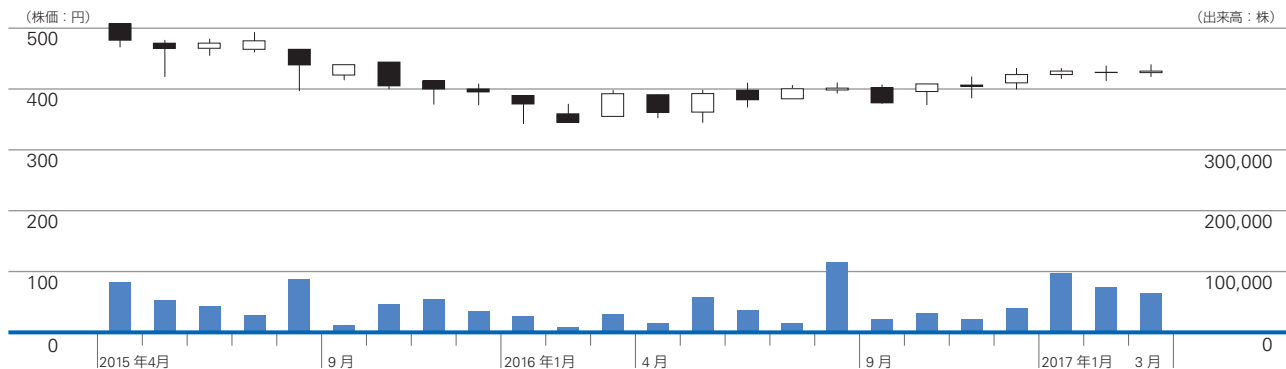
## 所有者別分布状況



## 所有数別分布状況



## 株価及び出来高の推移



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	中間配当を行う場合は毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
単元株式数	100株
上場証券取引所	名古屋証券取引所 市場第二部 (コード6797)

## お知らせ

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

\*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。